

平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月10日

上場会社名 OATアグリオ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4979 URL http://www.oat-agrio.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 明平  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務部長 (氏名) 一野 展久 TEL 03-5283-0262  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	8,773	7.3	2,112	9.8	2,076	18.6	1,407	15.3
28年12月期第2四半期	8,173	4.3	1,922	19.9	1,751	9.3	1,221	24.8

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 1,410百万円 (27.1%) 28年12月期第2四半期 1,109百万円 (10.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	285.43	270.62
28年12月期第2四半期	228.14	216.85

(注) 平成28年12月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、平成28年12月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第2四半期	13,592	6,040	41.4	1,141.87
28年12月期	11,547	4,785	37.7	883.44

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 5,632百万円 28年12月期 4,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,496	4.3	1,430	△10.8	1,409	△10.3	958	1.7	194.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期2Q	5,536,000株	28年12月期	5,536,000株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	603,624株	28年12月期	603,624株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期2Q	4,932,376株	28年12月期2Q	5,354,322株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年1月1日～平成29年6月30日)におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景にした雇用・所得環境が改善するなど、引き続き緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら世界経済においては、米国トランプ政権の政策運営やアジア新興国等の経済動向など、先行き不透明な状況が続いております。

国内の農業においては、平成29年5月12日に肥料や農薬などの農業資材や流通加工分野の業界再編を促す「農業競争力強化支援法」が国会において可決されるなど、わが社を取り巻く環境も大きな変化が予想されます。

このような情勢のもと、当社グループは、国内外において、各製品の販売拡大のため積極的な営業活動を行ってまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は87億73百万円(前年同四半期比5億99百万円増加、同7.3%増)、営業利益は21億12百万円(前年同四半期比1億89百万円増加、同9.8%増)、経常利益は20億76百万円(前年同四半期比3億25百万円増加、同18.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億7百万円(前年同四半期比1億86百万円増加、同15.3%増)となりました。

なお、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、国内農薬事業を中心に需要の最盛期に当たり、売上高及び営業利益等が下半期と比較して多額となる傾向にあります。

当社グループはアグリテクノ事業の単一セグメントであります。各分野別の業績につきましては以下のとおりであります。

農薬分野では、国内市場においては水稲除草剤の新製品が売上高の伸長に貢献し、前年を上回りました。一方、海外市場においては水稲除草剤の原体販売などが伸長しましたが、海外向け殺ダニ剤「ダニサラバ」(シフルメトフェン剤)の出荷が前年と比較して減少したことなどから、わずかに前年を下回りました。そのため農薬分野全体の売上高は67億65百万円(前年同四半期比14百万円減少、同0.2%減)となりました。

肥料・バイオスティミュラント分野では、国内市場において「ハウス肥料」や「養液土耕用肥料」を中心に出荷が増加し、また海外向けの「アトニック」の出荷が増加したことから、肥料・バイオスティミュラント分野全体の売上高は20億7百万円(前年同四半期比6億13百万円増加、同44.0%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は135億92百万円で、前連結会計年度末に比べ20億45百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加25億69百万円によるものであります。

負債につきましては75億52百万円で、前連結会計年度末に比べ7億90百万円の増加となりました。これは主に短期借入金の増加7億72百万円、未払法人税等の増加3億87百万円によるものであります。

純資産は60億40百万円で、前連結会計年度末に比べ12億54百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加12億59百万円によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は24億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円減少しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、5億66百万円の支出(前年同四半期は2億77百万円の収入)となりました。主な収入要因は税金等調整前四半期純利益20億53百万円、たな卸資産の減少3億74百万円等によるものであります。また、主な支出要因は売上債権の増加25億53百万円、法人税等の支払額2億70百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、66百万円の支出(前年同四半期は3億94百万円の支出)となりました。主な支出要因は有形固定資産の取得による支出1億7百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億81百万円の収入(前年同四半期は4億48百万円の収入)となりました。主な収入要因は短期借入金の増加7億67百万円等によるものであります。また、主な支出要因は配当金の支払額1億47百万円等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年2月10日の「平成28年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,774	2,670
受取手形及び売掛金	3,064	5,633
商品及び製品	2,019	1,809
仕掛品	199	204
原材料	632	461
その他	429	443
貸倒引当金	△18	△30
流動資産合計	9,100	11,192
固定資産		
有形固定資産	1,766	1,742
無形固定資産		
のれん	119	99
その他	119	110
無形固定資産合計	239	210
投資その他の資産	440	447
固定資産合計	2,446	2,399
資産合計	11,547	13,592
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,169	1,854
短期借入金	1,979	2,751
未払法人税等	272	659
返品調整引当金	24	19
売上割戻引当金	50	173
賞与引当金	89	41
その他	594	520
流動負債合計	5,179	6,021
固定負債		
長期借入金	1,032	1,006
役員退職慰労引当金	12	1
退職給付に係る負債	216	211
繰延税金負債	48	53
その他	273	258
固定負債合計	1,581	1,531
負債合計	6,761	7,552

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	461	461
資本剰余金	2,721	2,721
利益剰余金	2,078	3,338
自己株式	△788	△788
株主資本合計	4,474	5,733
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△23	△17
為替換算調整勘定	△73	△65
退職給付に係る調整累計額	△19	△18
その他の包括利益累計額合計	△116	△101
新株予約権	3	3
非支配株主持分	425	405
純資産合計	4,785	6,040
負債純資産合計	11,547	13,592

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	8,173	8,773
売上原価	4,402	4,615
売上総利益	3,771	4,158
販売費及び一般管理費	1,848	2,046
営業利益	1,922	2,112
営業外収益		
受取利息	8	10
受取配当金	3	3
助成金収入	—	6
その他	4	10
営業外収益合計	16	30
営業外費用		
支払利息	13	18
為替差損	166	45
その他	8	1
営業外費用合計	188	65
経常利益	1,751	2,076
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
関係会社株式評価損	—	22
特別損失合計	0	23
税金等調整前四半期純利益	1,751	2,053
法人税、住民税及び事業税	482	637
法人税等調整額	40	14
法人税等合計	523	652
四半期純利益	1,227	1,400
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	6	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,221	1,407

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	1,227	1,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	6
為替換算調整勘定	△119	2
退職給付に係る調整額	40	1
その他の包括利益合計	△118	9
四半期包括利益	1,109	1,410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,139	1,422
非支配株主に係る四半期包括利益	△29	△12

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,751	2,053
減価償却費	85	101
のれん償却額	91	17
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2	△10
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△16	△3
貸倒引当金の増減額(△は減少)	18	12
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△6	△4
売上割戻引当金の増減額(△は減少)	128	123
賞与引当金の増減額(△は減少)	1	△47
受取利息及び受取配当金	△11	△13
支払利息	13	18
為替差損益(△は益)	47	6
固定資産除却損	0	0
関係会社株式評価損	—	22
売上債権の増減額(△は増加)	△1,893	△2,553
たな卸資産の増減額(△は増加)	452	374
仕入債務の増減額(△は減少)	302	△312
その他	△475	△78
小計	488	△293
利息及び配当金の受取額	10	12
利息の支払額	△13	△14
法人税等の支払額	△207	△270
営業活動によるキャッシュ・フロー	277	△566
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	50	46
有形固定資産の取得による支出	△72	△107
無形固定資産の取得による支出	△16	△6
投資有価証券の取得による支出	△77	△0
事業譲受による支出	△277	—
敷金の差入による支出	△1	△1
その他	0	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△394	△66
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,317	767
長期借入金の返済による支出	△135	△25
リース債務の返済による支出	△4	△6
非支配株主からの払込みによる収入	137	—
自己株式の取得による支出	△724	—
自己株式の処分による収入	19	—
配当金の支払額	△161	△147
非支配株主への配当金の支払額	—	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	448	581
現金及び現金同等物に係る換算差額	△78	△8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	253	△61
現金及び現金同等物の期首残高	1,612	2,491
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,868	2,430

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは、アグリテクノ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。